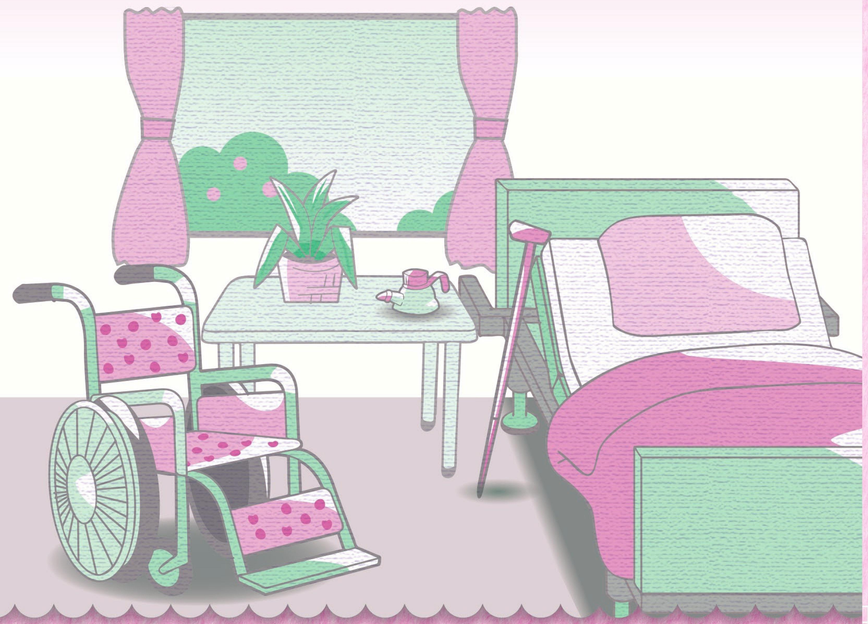
平成25年度 山形大学医学部公開講座

超高齢社会のリハビリテーション

ー在宅医療に必要な基礎知識ー



山形大学

プログラム

12：30〜13：00　受　付

13：00〜13：05　開会の辞

13：05〜14：00

1　脳血管障害、運動器障害のリハビリテーション ー急性期から回復期までー

【講師】山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 副部長　佐々木　幹 先生
【座長】山形大学医学部附属病院看護部 部長　那須　景子 先生

高齢者の脳血管障害、大腿骨頚部骨折や脊椎圧迫骨折による運動障害について、急性期から回復期までのリハビリテーションの実際を概説。

14：00〜14：55

2　在宅リハビリテーションの実際と問題 （認知症、嚥下、骨粗鬆症問題を含む）

【講師】至誠堂総合病院リハビリテーション部 部長
山形大学医学部 非常勤講師　小林　真司 先生
【座長】山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 助教　成田　淳 先生

回復期を経て在宅介護、ケアが必要となった患者に対するリハビリテーションの実際と問題点を概説。リハビリテーションに際しての認知症、嚥下、骨粗鬆症の問題も交える。

（15：00〜15：15　休憩）

15：15〜16：10

3　在宅介護での環境整備

【講師】長崎リハビリテーション病院テクノエイド部 部長　淡野　義長 先生
【座長】山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 主任　村川　美幸 先生

在宅介護、ケアを始めるに際して、患者が住む家屋の環境整備の基礎知識を福祉工学の立場から概説。

16：10〜17：50

4　リハビリテーション地域連携の現状と今後の課題 ー災害時の経験から見えてきたことー（廃用症候群を含む）

【講師】気仙沼市立病院脳神経外科 科長　成田　徳雄 先生
【座長】山形大学医学部整形外科学講座 教授
山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 部長　高木　理彰 先生

超高齢社会を迎えた本邦におけるリハビリテーション医療に関連した地域連携について概説。東日本大震災災害におけるリハビリテーション支援活動を通して明らかになった廃用症候群の問題と災害時の介護、ケア問題についても触れる。

17：05〜17：10　閉会の辞

開催日時　平成25年 9月7日（土）　13:00〜17:10

受講対象者　医療従事者・介護関係者
（医師、看護師、薬剤師、医療事務等）
一般市民

受講料　4,000円

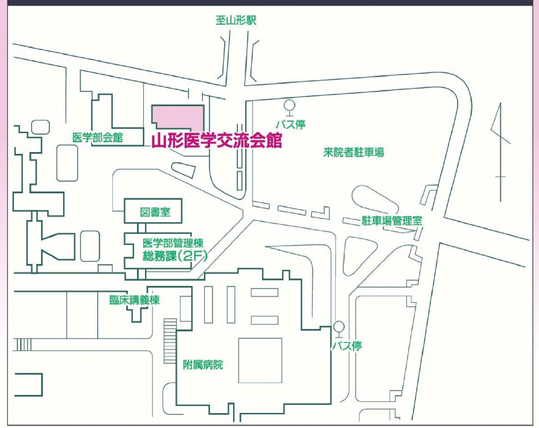
場所　山形医学交流会館（別紙地図参照）

募集人数　100名

受講の手続

申込期間　平成25年7月8日（月）〜平成25年8月2日（金）まで

申込方法　「払込取扱票」に記入の上、郵便局で手続してください。
通信欄に職業等、必要事項を記入してください。
先着順に受け付け後、受付証をお送りします。

問合せ先　医学部総務課庶務担当
〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
TEL / 023-628-5006　FAX / 023-628-5019

会　場